

定禅寺通

じょうぜんじどおり

1/2

宮城県仙台市

ウォーカブル推進都市

■人口 1,063,198人

■所在地 宮城県仙台市青葉区

■路線データ



軒先利用



その他活用



再構築



地域資源活用



ビジョン策定



■取組の概要

定禅寺通は、美しいケヤキ並木や主要な文化施設があり、また定禅寺ストリートジャズフェスティバルやSENDAI光のページェントをはじめとする様々なイベントの舞台として、市民や多くの来訪者にも愛される仙台市のシンボルロードである。しかし近年は、地下鉄東西線や東西自由通路の整備、大規模商業施設の開業等の影響から、仙台駅周辺に人の流れ・賑わいの集中が起きており、一方、定禅寺通エリアにおいては、歩行者の滞在密度や通行量が、仙台駅周辺の半分にも満たないという調査結果もあり、都心部における人の流れや賑わい偏在化が課題となっていた。

そこで、定禅寺通に関係する町内会や街づくり団体、沿道地権者等により構成された「定禅寺通活性化検討会」を2018年10月に設立し、定禅寺通エリアの将来像、活性化や魅力向上に資する取り組み、道路空間再構成、歩行空間の利活用、エリアマネジメント等について検討を進め、社会実験による検証や市民との対話等も繰り返し行った。

■ビジョン策定

定禅寺通活性化委検討会では、令和4年3月に、定禅寺通エリアにおけるまちづくりの理念・目標やこれらを実現するための戦略等を共有・宣言するための基本構想「定禅寺通エリアまちづくりビジョン2030」をとりまとめた。この間、仙台市では本庁舎建て替えや勾当台公園の再整備等個々の取組が結びついた一体的な「面」としての魅力向上を図るため、令和3年5月に「勾当台・定禅寺通エリアビジョン」を策定した。

■再構築

仙台市では、地域が策定した基本構想およびシンボルロード整備事業（平成11～13年）の考え方を踏まえ、令和5年3月に「定禅寺通再整備方針」を策定。シンボルであるケヤキ並木を継承しながら、ひとと中心の空間への転換、多様なアクティビティが生まれる環境づくりを行うため、車線削減を伴う道路空間再構成を実施することとした。



地図出典：OpenStreetMap

じょうぜんじどおり

2/2

- ※大規模イベントは、整備期間中も調整を行いながら実施
- ※公園（中央緑道）の利活用は、工区ごとの工事完了後に開始
- ※道路（歩道）の日常的利活用は、地元との合意形成のうえ道路占用特例を活用し実施予定

https://www.city.sendai.jp/machi-sebi/jozenji_top.html

停車・荷捌きスペースの整備による、
沿道の経済活動とスムーズな自動車・自転車交通の両立

歩道の滞在・利活用空間を活用した出店等
による日常的な賑わいの創出

安全快速に歩行できる
進行空間の確保

- ・滞在空間の拡大による、
移住を促しめる居心地の良いベンチの設置と
イベント利用できるスペースの確保
- ・空間の広直しにあたっては、
ケヤキの生育環境への影響を考慮
- ・滞在・利活用空間や交差点、バス停付近など
歩行者が滞留するシーンを想定した
フリーサイクルベンチの設置

- ### ■利活用状況
- ・マルシェ等の不定期開催や、テーブルセット等の日常的な滞留空間づくりを地元団体が主体となり実施。
 - ・整備中であるが、ジャズフェスや光のページェント等の大規模イベントも随時調整を行い実施している。